

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農業	課題研究	2	3	食料環境科	必修

科目のねらい	それぞれ自分の進路希望や興味関心にあわせ、課題を設定し、その課題を解決する学習をおこなう。これにより、専門的な知識と技術の深化・総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に着ける。
--------	--

使用教材など	それぞれのグループによる
--------	--------------

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4	16	1. テーマ設定 ① 調査・実験・研究 ② 作品製作 ③ 産業現場における実習 2. 分野 ①水田環境整備に関する研究 ②動植物の保全に関する研究 ③地域環境の保全に関する研究 ④地域の伝統食材に関する研究 ⑤新商品開発に関する研究 ⑥微生物利用に関する研究	- 原則として、2年次から継続して同じグループ編成、同じテーマによる活動となる。 3年間のまとめができるように、しっかりした年間計画を立てる。 - 教員からの指導による活動だけでなく、自分から考えて活動することが大切である。 - 調査方法についても、研究に必要なデータの種類や測定方法をあらかじめ予測される結論に応じて選ぶ。
	5			
	6			
	7			
二 学 期	8	32	3. 年間計画の立案 4. 活 動 ・ 校内プロジェクト発表会における発表（11月） ・ 全グループが発表する。	- 夏休み中でも活動が途絶えることがないこと。自分でできることを考える。 - 全グループが校内発表を行う。
	9			
	10			
	11			
三 学 期	12	10	5. まとめ 学科発表会（1月） 研究集録集の作成（1月）	- 活動の内容、成果、課題を他の人がわかるようにまとめて発表する。 - 当初の目標に照らし合わせて自己評価をする。
	1			

評価項目・学習にあたって・評価点		
①興味・関心・意欲	各自が選択したテーマに興味・関心を持ち、他人任せにすることなく意欲的に研究に取り組むことができる。	20点
②ノート・観察記録	記録を丁寧な字で欠かすことなく記載し、日付順に観察記録をファイリングすることができる。	30点
③まとめ・発表態度	目標に到達するために必要なデータの種類の種類や測定方法をあらかじめ予測し適切に設定できる。また、調査結果をもとに論理的に考察することができる。	30点
④出席	欠かすことなく授業に参加することができる。	20点